



# 石仏に見守られ 晴れやかな癒しの道を歩く



## 「山道の石仏」

一番札所から八十八番札所まで。各寺の本尊と弘法大師を模した石仏などが山道に沿うように立つ。



## 「矢田寺」

あじさい寺で名高い矢田寺(正式には金剛山寺)。本堂前に約1万株が咲く。境内には石仏も多く、「矢田のお地藏さん」と親しまれる。6月1日～7月10日の間は入山料大人400円が必要。6月1日～30日の間、本堂特別拝観(入山料と別に拝観料500円)と閻魔堂特別開扉(入山料のみ)も開催される。

写真提供:一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

## 「じゅっぶく小屋からの眺望」

道半ば、山頂近くの休憩所「じゅっぶく小屋」からは、大和盆地が一望に。風光明媚なハイキングコースでもある。



## 「矢田寺へんろみち保存会」

草木に埋もれた道がつながるまで3年がかり。5年前には、もみじの苗木約2,300本を植え、紅葉も楽しめる道となりました。会員は現在15名ですが、地元有志の輪も広がり、多くの人の手を守っています。

(談:山下正樹会長/写真右)



☎ 矢田寺へんろみち保存会(山下さん) ☎090-5648-1989

## 大和郡山市・矢田寺四国八十八ヶ所霊場



### 【矢田寺への行き方】

近鉄郡山駅より  
矢田寺前行きバス、矢田寺前下車西へ  
約200m  
または泉原町行きバス、横山口下車西へ  
約1.2km



明るい山の道をしてくく歩けば、四国八十八ヶ所を2時間ほどで一巡り。ハイキング気分て癒しの道をたどるのが、矢田寺(矢田山・金剛山寺)の裏山に広がる「ミニ遍路道」です。四国霊場を模した写霊場は各地にあります。美しい山の自然と眺望を楽しみながら巡れるのは全国でも珍しく、遠来からのハイカーにも人気です。

若者の姿も目立ち、近頃流行りの「山ガール」ならぬ「お遍路ガール」のグループも。若男女が石仏に見守られ、眺めよし、季節ごとの彩り豊かな癒しの道を歩きます。

く人を元気づけ、心を和ませてくれます。大正15年に造られたものの、戦後に荒れ果てたこの道を復活させたのは、篤き人の手と心です。約7年前に一人で整え始めたのは、山下正樹・矢田寺へんろみち保存会会長。やがて地元有志が集まり出し、道を暗く覆う木を伐り、枝を払い、倒れた石仏を起こして整備。その甲斐あって今では木漏れ日が輝き、爽やかな風が渡る遍路道となりました。